

自立活動だより

令和6年 8月 9日 発行
佐世保特別支援学校 自立活動部

今回は、あたご部門小学部の自立活動の時間における指導と、「自閉症指導スタンダード」を軸にした取組についてご紹介します。

あたご小学部の取組

あたご部門では、小学部1・2年生は週に3時間、3～6年生は週に2時間、自立活動の時間における指導を設けて、日々の学習に取り組んでいます。一人一人の実態から個別に目標を立て、目標に沿った学習内容を設定して、指導を行っています。

今回は、児童の学習の様子についてご紹介します。

主に身体の動きに関する学習

いろいろな姿勢で身体を動かしたり、感覚を感じて体を動かしたり、教師の促しに応じて体を動かしたりする学習をしています。



主にコミュニケーションに関する学習

友達と関わったり協力したりする学習や、集団の中で順番やきまりを守って友達と活動する学習をしています。



主に手指の操作に関する学習

手元に視線を向けながら、ひも通し、ボタンの練習や箸を使った活動など手指を使った細かい作業を行います。



上記以外にも、日常生活動作や気持ちの安定、人間関係の形成に関する学習など一人一人に応じてたくさんの指導内容があります。一見すると、全員プランコに乗って同じ活動をしているように見えても、Aさんは揺れを感じて体の傾きを感じる学習、Bさんは揺れに合わせて手足の曲げ伸ばしをする学習、Cさんは「楽しい！もう1回したい！」という気持ちや要求を伝える学習など、場や教材を共有しながら、個別の目標に向けた学習に取り組んでいます。

「自閉症指導スタンダード」の視点を取り入れたあたご小学部の取組

「自閉症指導スタンダード」は、本校における、自閉症のある児童生徒に関わるときに必要な共通のスタンス（学校としての自閉症のある児童生徒への指導の指標）を示したもので、全部で10項目あります。今回は、あたご部門小学部の学習場面を以下の項目の主に「4」、「9」を中心に考えていきます。

＜「自閉症指導スタンダード」項目＞

| | |
|----|--|
| 1 | 説明や指示は、簡単に、かつ具体的にしよう |
| 2 | コミュニケーションスキルを高めさせよう |
| 3 | 予定変更は、本人が分かる方法で伝えよう |
| 4 | 「いつ」「どこで」「何を」「いつまで（どれくらい）」「どのように」「終わったら、次は何をするか」を明確に伝えよう |
| 5 | 独特の感覚があることを理解しよう |
| 6 | 教室の掲示などをシンプルにしよう |
| 7 | 様々な場面で使えるスキルを育てよう |
| 8 | 「こだわり」は、本人の「不調」「不安」のサインとしてとらえよう |
| 9 | 気持ちを切り替える方法や、コントロールする力を身に付けさせよう |
| 10 | その行動が適切であったか振り返らせよう |

今回は、自閉症スタンダードの『4 「いつ」「どこで」「何を」「いつまで（どれくらい）」「どのように」「終わったら、次は何をするか」を明確に伝えよう』、『9 気持ちを切り替える方法や、コントロールする力を身に付けさせよう』の項目を実践した例を取り上げます。他の項目においても、様々な場面で、特性に応じて、見通しをもって活動ができるように支援を工夫しています。児童生徒が、より安心して、自信をもって学習に取り組めるよう、今後も自閉症スタンダードの10項目の視点を大事にして指導を工夫していきます。

【4 「いつ」「どこで」「何を」「いつまで（どれくらい）」「どのように」「終わったら、次は何をするか」を明確に伝えよう】の実践例

＜時間割ボード＞
毎日の時間割を提示するボードの一例です。教科を表す絵カードと教科名、授業を行う場所、左端には授業が始まる時間のイラストを掲示しています。隣のボードには、次の学習を掲示するスペースがあり、授業が終わる度にカードを貼り替えることで、どこまで終わったか、次の学習は何でどこであるのか分かるよう掲示しています。ちなみに、このクラスでは、教科名の掲示や毎時間の貼り替えは係の仕事として、子供たちが行うようにしています。



【9 気持ちを切り替える方法や、コントロールする力を身に付けさせよう】の実践例

＜ストレスマネジメントの活用＞
気持ちが不安定になった時に、気持ちを落ち着かせたり、切り替えたりする方法として、深呼吸をしたり、音楽を聴いたり、体を動かしたりしています。それぞれの児童に合った方法を一緒に探し、気持ちをコントロールする練習を行っています。この写真は、深呼吸をすることで、気持ちを落ち着かせている様子です。



＜クールダウンできる場所＞
普段、着替え部屋として使用している小部屋や、ついたてで仕切った空間を、気持ちを落ち着かせたり、切り替えたりする「クールダウン部屋」としても使用しています。周囲からの刺激が制御されることで、短い時間で気持ちを切り替えることができます。